

# きてみてナース みてなへス

市立福知山市民病院

所在地

620-8505

京都府福知山市厚中町231番地

TEL:0773-22-2101

FAX:0773-22-6181

ホームページ: <http://www.fukuchiyama-hosp.jp/>

～一度私たちの病院に来てみませんか?～

第17号 発行日:平成24年9月21日

## ★皮膚・排泄ケア認定看護師の紹介★

今年の6月に皮膚排泄ケアの分野で認定看護師に認定された衣川看護師を御紹介します。



### ○皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC看護認定看護師)とは

皮膚・排泄ケア認定看護師は、創傷ケア(wound)、ストーマケア(ostomy)、失禁ケア(continence)の分野で活動します。それぞれの分野で、実践・指導・相談の能力が必要とされます。具体的な内容として、ストーマ、瘻孔、尿・便失禁などの排泄物による皮膚障害の対処・皮膚の保護(予防的ケア)や、褥瘡・慢性潰瘍などの創傷ケアに携わります。患者様・家族様に対してストーマケアや褥瘡の処置方法、オムツの当て方など、在宅に向けての指導をしたり、病棟のスタッフに対してケア方法の指導をしたりしています。また病棟スタッフからケア内容を相談されたり、ストーマ外来に来られた患者様の退院後の日常生活の相談にのったりしています。



### ○皮膚排泄ケア認定看護師の衣川さんに質問

Q1: 皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取ろうと思った理由

A1: 消化器外科の病棟では時にストーマ造設後に便がもれて皮膚がただれた患者様、瘻孔が出来て頻回にガーゼを換えなければならない患者様などがおられます。どのようなケアが提供できるのか詳しく勉強したいと思いました。

Q2: 資格を取るのに苦労したこと

A2: ストーマ装具や創傷被覆材の種類が多く、当院で採用されていない物もたくさんあるので、それを覚えるのが大変でした。

Q3: 資格を取って変化したこと

A3: 各病棟の看護師だけでなく、ストーマ外来を開設するために医事課の方と話し合いをしたり、ストーマ装具や創傷被覆材の業者の方と話をしたりと、人とのつながりが増えました。

Q4: 活動内容を簡単に教えてください

A4: 皮膚科・形成外科の医師と一緒に褥瘡回診し、病棟の看護師に褥瘡の原因やケア方法などを伝えたりします。また入院中のストーマケアに携わるだけでなく、ストーマ外来を開き、ストーマを造設された患者様が退院後もきちんとケア出来ているか、困ったことはないか等相談に乗ったりします。

Q5: 今後の活動での抱負や自己アピール

A5: 院内で私のことを知らないスタッフの方が多いと思うので、まずは自分の存在を知ってもらうことからだと思っています。将来に向けては、院内だけでなく地域の方にも目を向けていきたいと思っています。

### ★新人さんの声～只今奮闘中～★

福知山市内のお寺でリフレッシュ研修を行いましたので感想を御紹介します。

☆和尚さんの話を聞かせて頂きました。和尚さんは社会人になっただけの私達の立場を考えて、今の状態やこれからのことなど沢山アドバイスを下さいました。今悩んでいることは自分だけでなく皆同じように通って来ている道であり、**これから沢山の試練はあるということ、試練を乗り越えてこそ良き未来がある**ということを教わりました。

☆「睡蓮の花はとても綺麗な花であるが、根っこは泥の中であり、泥の中で必死に育ってきたからこそ綺麗な花が咲く」と花に例えるなど分かりやすく自分の体験談も踏まえて話をして頂きました。

☆話を聞いた後は同期生と話しをしたりして、ご飯を頂きました。午後からは写経と座禅を体験させてもらいました。座禅をきちんと組むことは出来ませんでしたが、心を落ち着かせることが出来ました。